

仕事始め式での挨拶

平成 25 年 1 月 4 日

皆さん、明けましておめでとうございます。

今年は、例年よりも年末年始が短い休暇であったと思いますが、皆様方それぞれ体を休められて、英気を養われたことと思います。

今年の元旦は久しぶりの快晴で、いい年明けでした。

2日、3日は少し雪がぱらついたりしましたが、まずまずの年明けだったと思います。

しかし、今日はまた、外を見ますとかなりの雪であります。

あの一昨年の大震災、大津波と原発事故で、まだまだ不自由な生活を強いられておられる被災地の皆様のことを思いますと、一刻も早い復旧が行われることを望むものであります。

県としても、引き続き、被災地の支援などを行っていかねばならないと考えております。

年頭の報道等を見ますと、日本は長い間、円高・デフレで大変厳しい状況が続いており、そこから早く脱却してほしいという声がたくさんあります。

そうした中で、年頭の円の動きなどを見ますと、久しぶりに1ドル86～87円台と、最近ではあまり見られなかった80円台後半の数字が出ておりました。

これは報道によりますと、米国のいわゆる「財政の崖」、過去の減税措置が終了することに対して対応策をとらないと、逆に増税が起こりうるということで、米議会でいろいろな調整が行われておりましたけれども、一定の合意が成り、米国経済に対する安心感から、米国株が見直され、ドルが強くなり、逆に円が少し安くなったということでもあります。

いずれにしましても、日本経済の大きな課題であります円高・デフレが県の経済にも大きな影響を及ぼしております。この問題が出来るだけ早く解消に向かい、そして中長期的に日本経済の再建、建て直しが、日本にとって大きな課題であります。

年末に新政権が発足しました。

安倍内閣においては、金融の緩和を日本銀行にお願いをする、政府の方も、大型の本年度補正予算を組んで経済対策を行う、そして、その上に立って中長期的な経済の再建を行っていくという構想で、今、いろいろな作業が始められようとしております。

来週末には、大型補正予算の大きな枠組みが決まるのではないかとといった報道もあります。

私ども県にとりましても、当面、2月議会に向け、そうした国の対策等を織り込んだ今年度の追加補正予算と来年度予算の編成を行うよう、県庁各部局において作業をしていかなければなりません。

迅速かつ適切に行っていく必要がありますので、宜しく願いする次第であります。

その上で、県経済の活性化を図っていく、県としての対策を粘り強く講じていくということが必要であります。

私どもは産業振興とそれによる雇用の創出に長年、全力を挙げて取り組んできております。この課題に今年も引き続き取り組んで行かなければなりません。

そのためには、島根県の持つ強みを活かしていくことが基本であります。

ものづくり産業・IT関連産業の支援、中小企業対策、農林水産業支援、観光資源の活用、県産品の県外での販路拡大、企業誘致、代替エネルギーの開発のための政策、道路等の社会インフラ整備といったようなことが、大変大事な課題であります。

そういう意味で昨年は、観光資源の活用ということで「神々の国しまね」プロジェクトを推進し、「神話博しまね」を開催し、多くの方々にお出でいただきました。

今年は5月に出雲大社の「大遷宮」があります。

こうしたものを繋げて、さらに継続をするよう私どもは引き続き努力を行っていかねばなりません。

古代出雲の世界が報道や本などでも多く紹介され、島根に対する関心なども非常に強くなってきているように思います。

この勢いを、是非とも皆さんと一緒に、県民の皆さんとともに続けていくよう努力をしていきたいと思っております。

私どもは、島根の発展のために努力・工夫をしていかなければなりません。

そのためにも県民の方々の意見をよくお聞きし、現場をよく見、そしてその上で、皆さんのそれぞれの部局で、議論をしたり、意見交換をしたりし、県民の方々に必要な対策を柔軟に考えていくということをして是非やっていっていただきたいと思っております。

そういう意味においても、職場における自由闊達な意見交換が出来る、風通しのよい活気のある職場を作っていくよう、心がけていきたいと思っております。

産業振興の他にも、我々は多くの課題を抱えております。

国との関係では、竹島問題、原発の安全・防災対策の問題があります。国に適切な対応、政策を求めながら、最善の努力を続けて行かなければなりません。

このほか、各部局においては、医療・福祉の充実・確保、子育て支援、教育・文化、環境保全、治安対策、地域振興、離島・中山間地域対策など、数々の大きな課題があります。

こうした多くの課題に対応するためにも、我々が一体となって、事に当たる必要があります。

「県民の皆様のために、今年も一緒になって頑張っていきましょう。」

このことを皆さんにお願いし、実行することを誓いまして、年頭の私からの挨拶といたします。